

足元、欧州で注目されていること～各国選挙、ギリシャ債務問題～

欧州ハイ・イールド債券オープン(毎月決算型) 円コース/ユーロコース
追加型投信/海外/債券

2017年3月15日

当面の欧州ハイ・イールド債券市場の投資環境につきまして、「欧州ハイ・イールド債券オープン(毎月決算型)円コース/ユーロコース」が主要投資対象としております「DWSユーロ・ハイ・イールド・ボンド・マスター・ファンド(円)」および「DWSユーロ・ハイ・イールド・ボンド・マスター・ファンド(ユーロ)」の運用会社であるドイチェ・アセット・マネジメント・インベストメントGmbHからのコメント(要約および抜粋)を以下に記載致します。

【当レポートのポイント】

- 2017年は、各国で選挙等の政治的イベントが数多く予定されていますが、中期的に見れば、欧州の社債市場に与える影響は限定的となると考えています。
- ギリシャと欧州連合(EU)及び国際通貨基金(IMF)から構成される債権団との債務交渉の再開を受けて、ギリシャ債務問題に再び焦点が当たるものの、ユーロ圏を揺るがすような問題にはならないと見えています。

【図表】各国政治イベントの日程と注目ポイント

日程	注目ポイント
3月15日 オランダ 総選挙	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 2017年の欧州初の選挙。 ✓ 極右政党である「自由党(PVV)」が第一党となる可能性が高まるものの、その他の政党による連立政権が樹立される見込み。 ✓ 結果次第で以降の各国選挙においてポピュリズム政党の支持率に影響が出るか注目される。
3月中 英国 EU離脱 通知	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 2016年6月の国民投票の結果を受け、3月中に英国がどのような形でEUからの離脱を通知するかが焦点。 ✓ EU単一市場へのアクセスを失う「ハードブレグジット」を選択した場合には、英国からの金融機関の流出や国内経済全般の弱体化の可能性が懸念される。
4月23日 5月7日 フランス 大統領選 挙	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 4月23日が第一回投票、5月7日が決選投票。 ✓ 自国優先主義の極右政党「国民戦線」のルペン党首が中道系の独立候補マクロン氏を支持率で上回る。 ✓ ただし複数候補者にスキャンダルが相次ぐ等混迷を深めている。 ✓ ルペン氏勝利の際にはフランスのEU離脱が懸念される。
9月24日 ドイツ 連邦議 会選挙	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 11年にわたり政権を担ってきたメルケル首相率いる保守系与党連合「キリスト教民主・社会同盟(CDU・CSU)」とシュルツ氏率いる中道左派「社会民主党(SPD)」の支持率が拮抗している状態。 ✓ メルケル政権が財政均衡を掲げるのに対しシュルツ氏は投資拡大を優先。 ✓ ただしフランス等に比べ、政権交代が起きてもポピュリズムが台頭するような状況は免れるものと予想。

I. 各国政治イベント

2017年は、3月のオランダを皮切りに各国で選挙等の政治的イベントが数多く予定されています。

2016年の英国国民投票で欧州連合(EU)離脱派が多数となったこと等から、欧州ではポピュリズム(大衆迎合主義)政党に対する支持率が高まる等の状況が見られ、政治動向への注目が高まっています。

政治リスクの台頭により、2017年に入り、フランスやオランダ等で国債利回りが一時的に上昇(価格は下落)する場面も見られます。

しかし、欧州中央銀行(ECB)の強力な金融緩和策により、国債利回りが低水準で抑えられていることや、欧州の社債市場の発行体は企業であり国のリスクとは分けて考える必要があること、欧州自体が景気の回復基調にあること等から、中期的に見れば、各国政治イベントが欧州の社債市場に与える影響は限定的となると考えています。

II. ギリシャ債務問題

ギリシャとEU及び国際通貨基金(IMF)から構成される債権団との債務交渉が、2017年2月28日より再開されました。

今後、債権団はギリシャに対し国内総生産(GDP)の2%に相当する追加貯蓄を求める見通しであることから、ギリシャ政府は更なる財政緊縮策が必要になると予想され、債務問題に再び焦点が当たっています。

しかし、ギリシャ政府は年金の削減等といった経済改革実施で合意する等、財政改革を進めており、かつてのギリシャ債務問題やユーロ圏離脱といった、ユーロ圏を揺るがすような問題にはならないと見えています。

(出所) 各種資料を基に、ドイチェ・アセット・マネジメント・インベストメントGmbHが作成

(作成: 債券運用部)

＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

- 本資料は、「欧州ハイ・イールド債券オープン(毎月決算型)円コース/ユーロコース」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■ 本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点でのドイチェ・アセット・マネジメント・インベストメントGmbHの見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。
- 本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■ 投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はおお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

欧州ハイ・イールド債券オープン(毎月決算型) 円コース/ユーロコース
追加型投信/海外/債券

欧州ハイ・イールド債券オープン(毎月決算型) 円コース/ユーロコース に関する留意事項

【岡三アセットマネジメントについて】

商号：岡三アセットマネジメント株式会社

岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長（金商）第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

【投資リスク】

- 投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様へ帰属します。ファンドは、欧州諸国のハイ・イールド債券等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替相場の変動により損失を被ることがあります。
- ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「信用リスク」、「為替変動リスク」、「金利変動リスク」、「流動性リスク」、「カントリーリスク」があります。（円コースにおいて、実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を目指しますが、為替ヘッジの対象となる外貨建資産は市況動向により変動することから、為替変動リスクを完全にヘッジすることはできません。）

※基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

【その他の留意点】

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。
- 投資対象とする投資信託証券にかかる購入・換金申込みの受付の中止および取消、取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込みの受付を中止することや、すでに受付けた購入・換金申込みの受付を取消することがあります。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご参照ください。

【お客様にご負担いただく費用】

<お客様が直接的に負担する費用>

- 購入時
 - 購入時手数料：購入価額×購入口数×上限3.78%(税抜3.5%)
詳しくは販売会社にご確認ください。
- 換金時
 - 換金手数料：ありません。
 - 信託財産留保額：換金申込受付日の翌営業日の基準価額×0.2%

<お客様が信託財産で間接的に負担する費用>

- 保有期間中
 - 運用管理費用（信託報酬）
：純資産総額×年率1.0044%（税抜0.93%）
 - 運用管理費用（信託報酬）の実質的な負担
：純資産総額×年率1.7044%（上限）
 - 実質的な負担とは、ファンドが投資対象とする投資信託証券の信託報酬を含めた報酬です。なお、実質的な運用管理費用（信託報酬）は目安であり、投資信託証券の実際の組入比率により変動します。
- その他費用・手数料
 - 監査費用：純資産総額×年率0.01296%(税抜0.012%)
- 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、投資信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、海外における資産の保管等に要する費用等を投資信託財産でご負担いただきます。また、投資対象とする投資信託証券に係る前記の費用等を間接的にご負担いただきます。（監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。）
- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご参照ください。

欧州ハイ・イールド債券オープン(毎月決算型) 円コース/ユーロコース
追加型投信/海外/債券

2017年3月15日現在

販売会社

(受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。なお、販売会社には取次証券会社が含まれております。)

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融 商品取引業 協会
(金融商品取引業者)					
岡三証券株式会社	関東財務局長(金商)第53号	○	○		○
岡三にいがた証券株式会社	関東財務局長(金商)第169号	○			
藍澤証券株式会社	関東財務局長(金商)第6号	○	○		
飯塚中川証券株式会社	福岡財務支局長(金商)第1号	○			
永和証券株式会社	近畿財務局長(金商)第5号	○			
株式会社SBI証券	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
香川証券株式会社	四国財務局長(金商)第3号	○			
三縁証券株式会社	東海財務局長(金商)第22号	○			
上光証券株式会社	北海道財務局長(金商)第1号	○			
大熊本証券株式会社	九州財務局長(金商)第1号	○			
高木証券株式会社	近畿財務局長(金商)第20号	○			
内藤証券株式会社	近畿財務局長(金商)第24号	○			
ニュース証券株式会社	関東財務局長(金商)第138号	○	○		
PWM日本証券株式会社	関東財務局長(金商)第50号	○			
ひろぎんウツミ屋証券株式会社	中国財務局長(金商)第20号	○			
益茂証券株式会社	北陸財務局長(金商)第12号	○		○	
マネックス証券株式会社	関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	
楽天証券株式会社	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○
愛媛証券株式会社	四国財務局長(金商)第2号	○			
三京証券株式会社	関東財務局長(金商)第2444号	○			
三晃証券株式会社	関東財務局長(金商)第72号	○			

(注) 販売会社によっては、現在、新規のお申込みを受け付けていない場合があります。

<本資料に関するお問合わせ先>

カスタマーサービス部 フリーダイヤル **0120-048-214** (9:00~17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く)